

飼育技術学会活動記録

設立	1989年10月16日	テーマ 飼育係の基本とは何か？
第1回	1990年	講演 ・両生・爬虫類について
第2回	1991年	講演 ・鰭脚類のフィラリアの処置と対策について
第3回	1992年2月27、28日	講演 ・両生・爬虫類について
第4回	1993年3月15、16日	講演 ・日本産淡水魚の生態
第5回	1994年3月3日	講演 ・野生生物の現状と保護 ・レッドデータブックの魚たち 研究発表 ・日出島のクロコシジロウミツバメとオオミズナギドリについて ・アメリカスッポン属の正当性及びその再吟味について ・サンディエゴ動物園等ビデオ紹介
第6回	1995年3月7日、8日	講演 ・動物の馴致と調教 ・ゾウの調教について ・ワシントン条約はどう変わるか ・バイカル湖の生物
第7回	1996年2月28、29日	講演 ・諏訪流の鷹の調教について ・野生動物における人工繁殖、必要性和問題
第8回	1997年3月17、18日	講演 ・熱帯魚の繁殖 研究発表 ・トビの調教 ・カメの皮膚病
第9回	1998年3月11、12日	講演 ・イルカのトレーニング 研究発表 ・新潟県沿岸で得られたウミガメ類の標識放流調査 ・レッサーパンダの人工保育 ・ニホンザルの調教 ・カルフォルニアアシカの水ショーとその裏話
第10回	1999年3月4、5日	講演 ・イヌワシ、クマタカの生態と現状について

		<ul style="list-style-type: none"> ・石垣島、白保のサンゴ礁の生態と現状について
第11回	2000年2月2、3日	講演 ・和鳥の飼育と繁殖について
第12回	2001年2月15、16日	講演 ・調教、鯨類・鰭脚類等 ・調教、犬の調教・牧羊犬
第13回	2002年2月27、28日	講演 ・日本で飼育している爬虫類はなぜ長生きしないのか？ ・海外産爬虫類の現地状況 ・アジア産カメ類の国際取引とその現状 研究発表 ・カロリナハコガメの飼育と繁殖 ・屋内飼育におけるヨウスコウワニの飼育と繁殖
第14回	2003年3月10、11日	講演 ・インガメの自然史 ・日本ヤマネコの現在と未来 研究発表 ・ツシマヤマネコの飼育と繁殖
第15回	2004年	講演 ・冬眠の進化と生物学的意義 ・哺乳類の冬眠、生き残りの戦略 ・カメたちの越冬、日本産カメ類を中心に 研究発表 ・恒温器を用いた国産爬虫類の冬眠と繁殖
第16回	2005年	講演 ・トレーニングを支えるブリッジによる動物とのコミュニケーション ・動物とのシンボリックなコミュニケーションの実践
第17回	2006年2月21日	講演 ・北の海の鰭脚類たち 研究発表 ・鰭脚類の飼育について ・カルフォルニアアシカにおける抜歯術の1例

第 18 回	2007 年 3 月 2、3 日	講演 ・飼育下生物に対しての環境エンリッチメント
第 19 回	2008 年 3 月 7、8 日	講演 ・生物の保定とその後の取り扱い ・環境エンリッチメントの実施とその評価
第 20 回	2009 年 3 月 6、7 日	講演 ・先人たちの努力と感性に学ぶ
第 21 回	2010 年 3 月 15、16 日	「野生動物の保護・保全について考える」 講演 ・飼育・展示・保全 ・ニホンカワウソの飼育 ・ヤンバルクイナの絶滅を回避する ・日本産淡水魚の保全戦略と種の多様性 ・鳥島におけるアホウドリ保護の成功 ・ウミガメ類の繁殖と保護活動 ・ツシマヤマネコの保全
第 22 回	2011 年 12 月 17、18 日	「生物の保定と取り扱い」 講演 ・草食獣の取り扱い ・食肉獣の取り扱い ・鳥類の取り扱い ・哺乳類・鳥類の取り扱い実演 ・爬虫類の取り扱い ・鯨類・サメ類の取り扱い ・ローピングテクニック ・動物の保定と取り扱い実習
第 23 回	2013 年 3 月 12、13 日	「人工保育・ふ化・育雛」 講演 ・ニホンヤマネの人工哺育 ・マーモセット類の人工哺育 ・イリオモテヤマネコの人工哺育 ・クビワオオコウモリの人工哺育 ・ニシローランドゴリラの人工哺育 ・有蹄類の人工哺育 ・ケープペンギン、フンボルトペンギンの人工孵化・育雛 ・ゴマフアザラシの人工哺育 ・ラッコの人工哺育 ・ホッキョクグマの人工哺育 ・大型インコ類の人工孵化・育雛

		<ul style="list-style-type: none"> ・スパールバルライチョウの人工孵化・育雛 ・ヤンバルクイナの人工孵化・育雛
第 24 回	2014 年 2 月 15、16 日	<p>「人工哺育・孵化・育雛」</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンカモシカの人工哺育と人工ペアでの繁殖 ・マヌルネコの人工哺育および死亡個体の検討 ・人工哺育、育雛の累計から見られた傾向 ・アホウドリの再導入、移住計画及び人工育雛 ・カリフォルニアアシカにおける介助哺育と完全人工哺育例 ・ウミガメの繁殖について ・乳成分とくに糖質の話 ・バンドウイルカの初期人工哺育の試み ・オオイタサンショウウオの連続繁殖 ・オオサンショウウオ展示水槽での飼育下繁殖 ・人工哺育ニシゴリラの群れ復帰
第 25 回	2015 年 3 月 3、4 日	<p>「飼育下生物の栄養・飼料について考える」</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食虫動物の飼育・栄養生理一般の話 ・猛禽類の栄養・餌料 ・コガタハナサキガエルの調査・飼育・繁殖について ・犬と猫の栄養学 コンパニオンアニマルの栄養学 ・大型草食獣の消化・吸収・代謝 ・草食動物用飼料の特徴と開発・製造 ・カメ類の栄養・餌料 ・魚類の栄養及び水について ・採食エンリッチメント
第 26 回	2016 年 3 月 22、23 日	<p>「飼育下生物の栄養・飼料について考える」</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育下動物の栄養管理戦略

		<ul style="list-style-type: none"> ・食虫動物の餌と栄養 ・配合飼料の開発とサル用飼料の紹介 ・鳥類の栄養状態とストレス ・ミルクの進化と哺乳類の生存戦略 ・飼育データに基づくビタミンの考え方 ・日本産カメ類の自然界での食性 ・咀嚼と採餌の謎 ・これからの日本の動物園水族館の動物収集の考え方
第 27 回	2017 年 3 月 13、14 日	<p>「飼育下生物の栄養及びトレーニングについて考える」</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウマの栄養管理 ・肉食性爬虫両生類の栄養管理 ・ヤギ、ヒツジの栄養管理の比較 ・研究に基づく動物園動物の飼料 ・トレーニングの基礎の基礎 ・ハズバンダリートレーニング 動物園での取り組み ・トレーニングを考える ～会員からの質疑をもとに～ ・ゴリラのトレーニング及び 認知発達研究 ・動物たちとの関係づくり そのための方法論
第 28 回	2018 年 3 月 7、8 日	<p>「飼育可動物のトレーニングについて考える」</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育下動物との関係づくり ・チンパンジーから学んだトレーニング法 ・トレーニングを考える ～会員からの質疑をもとに～ ・飼育下動物のアグレッションの原因と軽減 ・アニマルトレーニングを導く 5 つの光：行動分析学・動物行動学・認知

		<p>科学・身体制御・物理的工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海棲哺乳動物のハズバンダリー行動 ・エンリッチメントを目的とした鳥類のトレーニング
第 29 回	2019 年 3 月 18、19 日	<p>「飼育下動物の繁殖について考える」</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園における人工繁殖学総論 ・ハンドウイルカにおける人工授精の取り組みと出産・子育て ・米国スミソニアン保全生物学研究所における保全繁殖の取り組み ・動物園における繁殖推進のための糞中ホルモン測定の利用と誤解 ・屋内飼育展示環境のデザインと繁殖 ・鳥類の繁殖と飼育環境条件 ・ハズバンダリートレーニングとレッサーパンダの卵巣モニタリング ・動物園草食獣の乳成分や乳オリゴ糖の分析 ・動物の栄養と繁殖の関係 ・動物園動物の繁殖制限とそのリスク